



運用報告書(全体版) 第16期 (2022年9月1日～2023年8月31日)

**バンガード®・ワールド・ファンド -
バンガード・米国メガキャップ・グロース・インデックス・ファンド
Vanguard World Fund -
Vanguard Mega Cap Growth Index Fund**

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト ETF クラス受益証券

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、バンガード・ワールド・ファンド - バンガード・米国メガキャップ・グロース・インデックス・ファンドのETFクラス受益証券（以下「ファンド」といいます。）は、このたび、第16期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

<ファンドの仕組み>

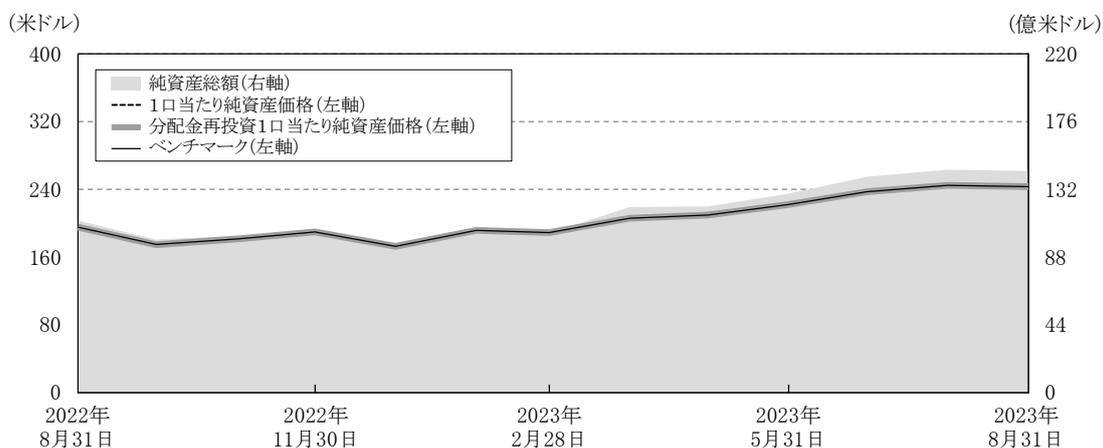
ファンド形態	米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドは、米国大型グロース銘柄の投資収益を測るベンチマーク・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指して運用を行います。
主要投資対象	下記「運用方法」をご参照ください。
運用方法	ファンドは、CRSP US メガキャップ・インデックスのグロース企業（インデックス・プロバイダーにより決定されます。）を表象する、CRSP US メガキャップ・グロース・インデックス（CRSP US Mega Cap Growth Index）のパフォーマンスへの一致を企図したインデックス投資手法を用います。 このインデックスは、米国の超大型グロース銘柄の株式市場のパフォーマンスを測るために作られた浮動株修正時価総額加重平均型インデックスです。ファンドはインデックスを構成する株式にその資産の全てまたは実質上全てに投資することにより、目標インデックスを複製しようと試みており、インデックスにおけるウェイトとおおよそ同様の割合で各株式を保有しています。ファンドは、関連する時価総額の変動または一または複数のインデックスの構成要素の変動の結果、1940年投資会社法に基づき定義される非分散投資型となる可能性があります。
投資制限	ファンドは、以下の基本的投資方針に従わなくてはなりません。基本的投資方針はファンドの受益証券の過半数にあたる受益者の承諾がなければ、いかなる方法によっても変更することはできません。かかる目的上、「過半数」の受益証券とは、①ファンドの純資産の50%以上に相当する受益証券を有する受益者または委任状を有する代理人が出席した上でのファンド

	<p>の純資産の 67%以上の賛成投票を表象する受益証券、または②ファンドの純資産の 50%以上を表象する受益証券のいずれか少ない方をいいます。</p> <p>(i) 借入れ ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する米国証券取引委員会 (SEC) もしくは他の規制当局により許可されている場合に限り、借入れを行うことができます。</p> <p>(ii) コモディティ ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する SEC もしくは他の規制当局により許可されている場合に限り、コモディティへの投資を行うことができます。</p> <p>(iii) 分散 ファンドの総資産の 75%について、ファンドは、①いずれか単一発行体の発行済議決権付証券の 10%以上を購入すること、②結果的にファンドの総資産の 5%以上が当該発行体の証券に投資されることとなるような場合に、当該発行体の証券を購入することはできません。ただし、対象とするインデックスの構成に近づけることを要する場合を除きます。本制限は、米国政府またはその機関もしくは下部組織の債務には適用されません。</p> <p>(iv) 同一業種への集中投資 ファンドは、目標とするインデックスの構成に近似させるために必要な場合を除いて、主要な事業活動が同一業種または同一業界の発行者の証券に投資を集中させてはなりません。</p> <p>(v) 貸付け ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する SEC もしくは他の規制当局により許可されている場合に限り、他の者への貸付けを行うことができます。</p> <p>(vi) 不動産 ファンドは、証券その他の金融商品を保有する結果として取得される場合を除き、不動産に直接投資することはできません。この制限は、ファンドが (1) 不動産への投資、取引もしくは別の方法で不動産取引に携わる会社が発行する、または (2) 不動産もしくは不動産の持分により裏付けられもしくは担保される、証券その他の金融商品に投資することを妨げません。</p> <p>(vii) 優先証券 ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する SEC もしくは他の規制当局により許可されている場合を除き、優先証券を発行することはできません。</p> <p>(viii) 引受け ポートフォリオ証券の売買に関連し、ファンドが米国 1933 年証券法上の意味における引受会社とみなされる場合を除き、ファンドは他の発行者の証券の引受会社としての業務を行うことはできません。</p>
<p>分配方針</p>	<p>ファンドは、受益者に対して、純インカム所得 (利息および分配から費用を控除した額) および保有する資産の売却によって実現した短期または長期の純キャピタル・ゲインの実質的全額を分配します。ファンドは、時に、キャピタルリターン (元本の払戻し) として取り扱われる分配を行うことがあります。ファンドのインカム分配は通常 3 月、6 月、9 月および 12 月に四半期毎に行われます。キャピタル・ゲインの分配は (もしあれば) 通常毎年 12 月に行われます。さらに、ファンドは、随時、追加的な分配を年度の一定時点で行うことがあります。</p>

I. 計算期間中における運用の経過および運用状況の推移

(1) 運用の経過

① 1口当たり純資産価格の推移等



- (注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第15期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注3) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮しておりません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。
- (注4) ファンドのベンチマークは、スプライスト・メガキャップ・グロース・インデックスです。スプライスト・メガキャップ・グロース・インデックスとは、2013年4月16日まではMSCI US ラージキャップ・グロース・インデックス、それ以降はCRSP US メガキャップ・グロース・インデックスをいいます。
- (注5) ベンチマークは、第15期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

バンガード・米国メガキャップ・グロース・インデックス・ファンドのETFクラス受益証券(ティッカー: MGK)は、「バンガード・米国メガキャップ・グロースETF」と称することがあります。また、本書においては、当ファンドの名称を英文アニュアルレポートに記載の英語名称で表記する場合や、ETFクラス受益証券を「ETF受益証券」と表記する場合があります。

2022年8月31日から2023年8月31日までのファンドのパフォーマンス

ファンド	期初の価格	期末の価格	1口当たり分配金	
			インカム分配	キャピタルゲイン
ファンド	195.20 米ドル	241.25 米ドル	1.242 米ドル	0.000 米ドル

2023年8月31日に終了する期間までの年間平均トータルリターン

	1年	5年	10年	投資額 10,000 米ドルに対する 最終価格
ファンド 純資産価格	24.39%	14.35%	15.63%	42,736 米ドル
ファンド 市場価格	24.48	14.36	15.64	42,755
ベンチマーク	24.48	14.42	15.71	43,014
ダウ・ジョーンズ USト ータル・ストック・マー ケット浮動調整指数	14.75	10.12	12.14	31,461

(注1) ファンドのトータルリターンは、表示通貨(米ドル)建てで計算されております。

(注2) ETF 受益証券について、市場価格は、ニューヨーク証券取引所の通常取引終了時（通常、米国東部標準時間午後4時）の呼値スプレッドの中間値によって決定されます。ファンド総資産の市場価格から負債を控除し、発行済ファンド受益証券口数で除すことにより計算される純資産価格もまた、ニューヨーク証券取引所の通常取引終了時に決定されます。

② 分配金について

当期（2022年9月1日～2023年8月31日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産 価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり純 資産価格の変動額 ^(注2)
2022年9月28日	182.40	0.3465 (0.19%)	-2.34
2022年12月22日	172.02	0.3389 (0.20%)	-10.04
2023年3月23日	197.47	0.2827 (0.14%)	25.73
2023年6月23日	230.74	0.2736 (0.12%)	33.54

(注1) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

$$\text{対1口当たり純資産価格比率 (\%)} = 100 \times a / b$$

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注2) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

$$\text{分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額} = b - c$$

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注3) 2022年9月28日の直前の分配落日（2022年6月23日）における1口当たり純資産価格は、185.09米ドルでした。

③ 1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

ファンドのパフォーマンス

- 2023年8月31日に終了した12か月間の Vanguard Mega Cap Index Funds の3ファンドのリターンは、Vanguard Mega Cap Value Index Fund のETF 受益証券の10.53%（純資産価格ベース）から Vanguard Mega Cap Growth Index Fund のインスティテューショナル受益証券の24.41%のレンジ内となりました。各ファンドはベンチマークのパフォーマンスに密接に追随しました。
- 当期期初に、多くの先進国市場のインフレ率が数十年來の高水準から低下し始めましたが、労働市場の逼迫から影響を受けたサービス業を含む一部のセクターのインフレ率は、なお高止まりしました。多くの主要中央銀行が大幅な利上げを行い、景気後退懸念が高まりましたが、世界経済は予想を上回る底堅さを示しました。
- 当期は大型株のパフォーマンスが中小型株を上回りました。バリュー銘柄とグロース銘柄がいずれもプラスのリターンを収め、グロース銘柄のパフォーマンスがバリュー銘柄を大きく上回りました。
- 3ファンドの大半のセクターがプラスのリターンを計上しました。各ファンドにおいてテクノロジーが最も貢献しました。金融および資本財・サービスも Mega Cap Value Index Fund のリターンを押し上げました。

* 上記の記述は、Vanguard Mega Cap Index Fund、Vanguard Mega Cap Growth Index Fund および Vanguard Mega Cap Value Index Fund のETF クラス受益証券を含むすべてのクラス受益証券についてのものです。

(2) 今後の運用方針

ファンドは、米国大型グロース銘柄の投資収益を測るベンチマーク・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。今後も投資方針に従い、引き続き運用を行います。

(3) 費用の明細

項目	項目の概要		注
管理費用	純資産価額の年率 0.06%	管理的性格の業務 および事業運営に かかる業務の対価	費用の料率は、2023年12月22日付英文目論見書に記載された現会計年度の見込み費用です。 2023年8月31日に終了した会計年度において、費用料率は合計0.07%でした。
12b-1 販売費用	なし	該当なし	
その他の費用	0.01%	ファンドが負担した その他の費用金額	
ファンドの年次運営 費用合計	0.07%		

II. 運用実績

① 純資産の推移

	純資産総額		1口当たり純資産価格	
	百万米ドル	日本円(百万円)	米ドル	日本円
第7会計年度末 (2014年8月末日)	1,520	222,224	79.16	11,573
第8会計年度末 (2015年8月末日)	1,928	281,874	80.22	11,728
第9会計年度末 (2016年8月末日)	2,247	328,511	87.15	12,741
第10会計年度末 (2017年8月末日)	3,135	458,337	104.09	15,218
第11会計年度末 (2018年8月末日)	4,152	607,022	127.79	18,683
第12会計年度末 (2019年8月末日)	4,388	641,526	132.22	19,331
第13会計年度末 (2020年8月末日)	10,193	1,490,217	196.25	28,692
第14会計年度末 (2021年8月末日)	12,714	1,858,787	248.50	36,331
第15会計年度末 (2022年8月末日)	11,168	1,632,784	195.20	28,538
第16会計年度末 (2023年8月末日)	14,376	2,101,771	241.25	35,271

(注1) 米ドルの円貨換算は、2023年8月31日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=146.20円)によります。以下同じです。

(注2) ETF受益証券の設定日は、2007年12月17日です。

(注3) 本書の中で金額および比率を表示する場合、四捨五入しているため合計の数字が一致しない場合があります。円貨への換算は、本書の中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。従って、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もあります。

② 分配の推移

	1口当たり分配金	
	米ドル	日本円
第7会計年度	0.999	146
第8会計年度	1.101	161
第9会計年度	1.236	181
第10会計年度	1.331	195
第11会計年度	1.462	214
第12会計年度	1.018	149
第13会計年度	1.335	195
第14会計年度	1.249	183
第15会計年度	1.062	155
第16会計年度	1.242	182

③ 投資資産(2023年8月末日現在)

下記「IV.ファンドの経理状況」の純資産計算書を参照ください。

III. 純資産計算書

(2023年8月末日)

	千米ドル	日本円(百万円)
総資産額 (Vanguard Mega Cap Growth Index Fund 全体)	14,408,295	2,106,493
総負債額 (Vanguard Mega Cap Growth Index Fund 全体)	479	70
純資産価額 (ファンド)	14,376,122	2,101,789
発行済み受益証券総数 (ファンド)	59,589,192 口	
1口当たり純資産価格 (ファンド)	241.25 米ドル	35,271 円

IV. ファンドの経理状況

独立登録会計事務所の監査報告書

Vanguard World Fund 受託者会、ならびに Vanguard Mega Cap Index Fund、Vanguard Mega Cap Growth Index Fund および Vanguard Mega Cap Value Index Fund 受益者各位

財務諸表に対する意見

私どもは、添付の Vanguard Mega Cap Index Fund、Vanguard Mega Cap Growth Index Fund および Vanguard Mega Cap Value Index Fund (Vanguard World Fund を構成するファンドのうちの 3 ファンドで、以下総称して「ファンド」という。)の 2023 年 8 月 31 日現在の投資明細表を含む資産・負債計算書、関連する 2023 年 8 月 31 日に終了した年度の損益計算書、2023 年 8 月 31 日に終了した 2 年間の各年の純資産変動計算書、関連する注記ならびに 2023 年 8 月 31 日に終了した 5 年間の各年の財務ハイライト(以下総称して「財務書類」という。)を監査した。私どもの意見では、財務書類は、すべての重要な点において、それぞれのファンドの 2023 年 8 月 31 日現在の財政状態、同日に終了した年度の運用成績、2023 年 8 月 31 日に終了した 2 年間の各年の純資産の変動、および 2023 年 8 月 31 日に終了した 5 年間の各年の財務ハイライトを、米国において一般に公正妥当と認められている会計原則に準拠して適正に表示している。

意見表明の基礎

これらの財務書類は、ファンドの経営陣が責任を負うものである。私どもの責任は、私どもの監査に基づいてこれらの財務書類について意見を表明することである。私どもは、公開企業会計監視委員会(米国) (「PCAOB」)に登録している公認会計士事務所であり、米国連邦証券法ならびに適用される証券取引委員会および PCAOB の規則および規定に準拠して、ファンドに関して独立していることが義務付けられている。

私どもは、PCAOB の基準に準拠して、これらの財務書類の監査を実施した。これらの基準は、誤謬または不正のいずれによるかにかかわらず、財務書類に重大な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、私どもが監査を計画し実施することを求めている。

私どもの監査には、誤謬または不正のいずれによるかにかかわらず、財務書類に重大な虚偽表示があるリスクを評価するための手続きの実施、およびそれらのリスクに対応する手続きの実施が含まれていた。かかる手続きには、試査による財務書類の金額および開示事項を裏付ける証拠の検証が含まれていた。私どもの監査はまた、適用された会計原則や経営陣によってなされた重要な見積もりについての検討および財務書類の全般的な表示の評価も含んでいた。私どもの手続きには、カストディアン、名義書換事務代行会社およびブローカーに対する書面による 2023 年 8 月 31 日現在の有価証券の確認が含まれ、ブローカーからの回答を受領しなかった場合には、私どもは他の監査手続きを実施した。私どもは、私どもの監査が、私どもの意見表明に関する合理的な基礎を与えるものであると確信している。

プライスウォーターハウスクーパース LLP
ペンシルバニア州フィラデルフィア
2023 年 10 月 18 日

私どもは、1975 年より Vanguard Group of Funds の 1 社以上の投資会社の監査人を務めている。

財務諸表

投資明細表

2023年8月31日現在

当ファンドは、各会計年度の第1四半期と第3四半期については、フォーム N-PORT による報告書の別紙としてポートフォリオにおける保有銘柄の完全な明細書を証券取引委員会 (SEC) に提出している。当ファンドのフォーム N-PORT による報告書は、SEC のウェブサイト www.sec.gov で閲覧することができる。

	株数	市場価格・ (千米ドル)
普通株式(99.8%)		
素材(1.3%)		
Linde plc	386,380	149,544
Ecolab Inc.	205,071	37,694
		187,238
一般消費財・サービス(22.5%)		
* Amazon.com Inc.	6,843,627	944,489
* Tesla Inc.	2,115,560	545,984
Home Depot Inc.	790,749	261,184
Costco Wholesale Corp.	349,073	191,739
McDonald's Corp.	574,923	161,640
* Netflix Inc.	350,358	151,943
* Walt Disney Co.	1,440,584	120,548
NIKE Inc. Class B	972,643	98,927
* Booking Holdings Inc.	29,251	90,825
Starbucks Corp.	905,963	88,277
TJX Cos. Inc.	911,871	84,330
* Uber Technologies Inc.	1,525,350	72,042
Lowe's Cos. Inc.	236,010	54,396
* O'Reilly Automotive Inc.	48,507	45,582
Marriott International Inc. Class A	206,251	41,974
* Airbnb Inc. Class A	297,050	39,077
* Lululemon Athletica Inc.	93,020	35,465
Ross Stores Inc.	274,989	33,496
Yum! Brands Inc.	224,853	29,091
Activision Blizzard Inc.	301,621	27,746
Estee Lauder Cos. Inc. Class A	167,375	26,869
Dollar General Corp.	176,135	24,395
* Chipotle Mexican Grill Inc.	11,154	21,490
* AutoZone Inc.	7,522	19,041
Hilton Worldwide Holdings Inc.	108,770	16,169
Electronic Arts Inc.	112,737	13,526
Las Vegas Sands Corp.	146,884	8,058
		3,248,303
生活必需品(0.7%)		
* Monster Beverage Corp.	586,450	33,668
Hershey Co.	118,258	25,409
Colgate-Palmolive Co.	334,556	24,580
Brown-Forman Corp. Class B	131,028	8,665
Brown-Forman Corp. Class A	21,866	1,470
		93,792

	株数	市場価格・ (千米ドル)
エネルギー (0.5%)		
Pioneer Natural Resources Co.	186,707	44,423
Schlumberger NV	574,007	33,844
		78,267
金融 (1.6%)		
S&P Global Inc.	253,382	99,037
Aon plc Class A (XNYS)	154,417	51,481
Moody's Corp.	124,469	41,921
Blackstone Inc.	285,407	30,359
		222,798
ヘルスケア (7.8%)		
Eli Lilly & Co.	671,513	372,152
Thermo Fisher Scientific Inc.	303,804	169,249
* Intuitive Surgical Inc.	277,051	86,628
* Vertex Pharmaceuticals Inc.	204,060	71,082
Danaher Corp.	263,376	69,795
* Regeneron Pharmaceuticals Inc.	81,329	67,218
Zoetis Inc.	330,276	62,921
* Boston Scientific Corp.	1,159,778	62,558
Stryker Corp.	136,533	38,714
* Edwards Lifesciences Corp.	483,636	36,984
* Moderna Inc.	259,549	29,347
Agilent Technologies Inc.	237,365	28,738
* IDEXX Laboratories Inc.	34,055	17,416
* Illumina Inc.	65,540	10,829
		1,123,631
資本財・サービス (7.7%)		
Visa Inc. Class A	1,271,886	312,477
Mastercard Inc. Class A	665,357	274,553
Accenture plc Class A	497,480	161,069
* Boeing Co.	475,016	106,418
* Fiserv Inc.	466,011	56,569
* PayPal Holdings Inc.	885,965	55,382
Sherwin-Williams Co.	184,905	50,242
Automatic Data Processing Inc.	165,294	42,085
Paychex Inc.	260,836	31,882
* Block Inc. (XNYS)	437,946	25,248
Global Payments Inc.	229	29
		1,115,954
不動産 (1.2%)		
American Tower Corp.	369,117	66,928
Equinix Inc.	74,223	57,997
Public Storage	126,489	34,959
Crown Castle Inc.	176,637	17,752
		177,636
テクノロジー (55.8%)		
Apple Inc.	11,719,621	2,201,765
Microsoft Corp.	5,831,940	1,911,477
NVIDIA Corp.	1,677,336	827,849
* Alphabet Inc. Class A	4,661,204	634,716
* Alphabet Inc. Class C	3,917,457	538,063
* Meta Platforms Inc. Class A	1,737,047	513,975

	株数	市場価格・ (千米ドル)
* Adobe Inc.	361,264	202,069
* Salesforce Inc.	748,152	165,686
* Advanced Micro Devices Inc.	1,268,674	134,124
Texas Instruments Inc.	715,658	120,273
Intuit Inc.	210,214	113,896
Applied Materials Inc.	667,914	102,031
* ServiceNow Inc.	161,003	94,803
Lam Research Corp.	106,489	74,798
* Palo Alto Networks Inc.	243,114	59,150
* Synopsys Inc.	120,923	55,490
KLA Corp.	109,151	54,780
* Cadence Design Systems Inc.	216,656	52,093
* Workday Inc. Class A	163,276	39,921
* Autodesk Inc.	171,841	38,138
* Snowflake Inc. Class A	220,618	34,604
* CrowdStrike Holdings Inc. Class A	171,621	27,979
Marvell Technology Inc.	347,727	20,255
* Fortinet Inc.	272,133	16,385
Roper Technologies Inc.	92	46
		8,034,366
電気通信(0.7%)		
* T-Mobile US Inc.	475,884	64,839
* Charter Communications Inc. Class A	78,900	34,568
		99,407
普通株式総額 (取得原価 10,898,622 米ドル)		14,381,392
	口数	市場価格・ (千米ドル)
短期現物投資(0.1%)		
マネー・マーケット・ファンド(0.1%)		
¹ Vanguard Market Liquidity Fund, 5.384% (取得原価 15,083 米ドル)	150,859	15,084
投資総額(99.9%) (取得原価 10,913,705 米ドル)		14,396,476
その他資産および負債－純額(0.1%)		11,340
純資産(100%)		14,407,816

取得原価金額単位:千米ドル

- 財務諸表の注記 A を参照。
- * 配当を出さない有価証券。

1 バンガード・ファンドならびにバンガードが管理する一部の信託および口座にのみ利用可能な関連会社のマネー・マーケット・ファンド。提示されているレートは 7 日間の利回りである。

期末現在デリバティブ金融商品未決済残高

先物契約

				(千米ドル)	
		満期	ロング (ショート) 契約数	想定元本	評価額および 未実現評価益 (評価損)
買建て先物契約					
E-mini NASDAQ 100 インデックス	2023 年 9 月		75	23,308	637
E-mini S&P 500 インデックス	2023 年 9 月		10	2,258	28
					665

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

資産・負債計算書

2023年8月31日現在

(単位:千米ドル、ただし口数、脚注および1口当たり金額を除く)		金額
資産		
投資有価証券、評価額		
関連会社以外の発行体(取得原価 10,898,622 米ドル)		14,381,392
関連会社発行体(取得原価 15,083 米ドル)		15,084
投資有価証券合計		14,396,476
バンガードへの投資		478
差入現金担保—先物契約		1,375
未収収益		9,911
受益証券発行未収金		3
未収変動証拠金—先物契約		52
資産合計		14,408,295
負債		
購入投資有価証券未払金		53
バンガードへの未払金		426
負債合計		479
純資産		14,407,816

2023年8月31日現在の純資産構成は以下の通りである。

	金額	
	(千米ドル)	(百万円)
払込資本金	11,814,119	1,727,224
分配可能利益(損失)総額	2,593,697	379,199
純資産	14,407,816	2,106,423
ETF 受益証券—純資産		
発行済み受益証券 59,589,192 口(額面 0.001 米ドル、無制限授權)	14,376,122	2,101,789
1口当たり純資産価格—ETF 受益証券	\$241.25	¥35,271
インスティテューショナル受益証券—純資産		
発行済み受益証券 66,136 口(額面 0.001 米ドル、無制限授權)	31,694	4,634
1口当たり純資産価格—インスティテューショナル受益証券	\$479.23	¥70,063

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

損益計算書

2023年8月31日に
終了した年度

(千米ドル) (百万円)

	(千米ドル)	(百万円)
投資収益		
収益		
配当金	79,205	11,580
利息 ¹	435	64
貸付有価証券－純額	1	0
収益総額	79,641	11,644
費用		
バンガード・グループ－注記 B		
投資顧問サービス	276	40
マネジメントおよび管理－ETF 受益証券	6,827	998
マネジメントおよび管理－インスティテューショナル受益証券	13	2
マーケティングおよび販売－ETF 受益証券	554	81
マーケティングおよび販売－インスティテューショナル受益証券	1	0
カストディー報酬	22	3
監査報酬	30	4
受益者報告－ETF 受益証券	340	50
受益者報告－インスティテューショナル受益証券	—	—
受託者報酬および費用	6	1
その他費用	22	3
費用総額	8,091	1,183
間接支払費用	(3)	(0)
費用純額	8,088	1,182
純投資収益	71,553	10,461
純実現利益(損失)		
売却投資有価証券 ^{1,2}	708,840	103,632
先物契約	1,929	282
純実現利益(損失)	710,769	103,914
未実現評価益(評価損)の変動		
投資有価証券 ¹	1,954,146	285,696
先物契約	1,178	172
未実現評価益(評価損)の変動	1,955,324	285,868
運用による純資産の純増加(減少)額	2,737,646	400,244

1 当ファンドの関連会社からの利息収益、純実現利益(損失)、キャピタルゲイン分配金受取額および未実現評価益(評価損)の変動は、それぞれ 405,000 米ドル、6,000 米ドル、1,000 米ドル未満および 1,000 米ドル未満であった。購入および売却は、短期現物投資目的による。

2 現物償還による純利益(損失)1,119,078,000 米ドルを含む。

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

純資産変動計算書

	2023年8月31日に 終了した年度		2022年8月31日に 終了した年度	
	(千米ドル)	(百万円)	(千米ドル)	(百万円)
純資産の増加(減少)				
運用				
純投資収益	71,553	10,461	63,434	9,274
純実現利益(損失)	710,769	103,914	858,787	125,555
未実現評価益(評価損)の変動	1,955,324	285,868	(3,910,393)	(571,699)
運用による純資産の純増加(減少)額	2,737,646	400,244	(2,988,172)	(436,871)
分配				
ETF 受益証券	(70,975)	(10,377)	(57,769)	(8,446)
インスティテューショナル受益証券	(170)	(25)	(185)	(27)
分配総額	(71,145)	(10,401)	(57,954)	(8,473)
資本持分取引				
ETF 受益証券	547,536	80,050	1,490,053	217,846
インスティテューショナル受益証券	(1,174)	(172)	(9,451)	(1,382)
資本持分取引による純増加(減少)額	546,362	79,878	1,480,602	216,464
増加(減少)総額	3,212,863	469,721	(1,565,524)	(228,880)
純資産				
期首	11,194,953	1,636,702	12,760,477	1,865,582
期末	14,407,816	2,106,423	11,194,953	1,636,702

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

財務諸表注記

Vanguard Mega Cap Growth Index Fund は、1940 年投資会社法に基づきオープン・エンド型投資会社すなわちミューチュアル・ファンドとして登録されている。当ファンドは、ETF 受益証券およびインスティテューショナル受益証券の 2 種類のクラスを提供している。それぞれの受益証券クラスの投資者の適格性および最低購入要件は異なっており、異なった種類の投資者向けに設計されている。ETF 受益証券は、NYSE Arca に上場されており、ブローカーを通して売買が可能である。

A. 以下の重要な会計方針は、米国の投資会社について一般に公正妥当と認められた会計原則に準拠している。当ファンドは財務諸表作成の際にこれらの会計方針を継続的に適用している。

1. 有価証券の評価: 有価証券は、評価日におけるニューヨーク証券取引所の終値(通常東部時間の午後 4 時)で評価される。持分証券は、各有価証券が取引されている主な市場から取得した直近の売値または公式な終値で評価される。評価日に約定のなかった有価証券は、直近の売買気配値の仲値を用いて評価される。市場取引価格を容易に入手することができない有価証券、あるいはファンドの価格決定前有価証券が主に取引されている市場の終了後に生じた事象により価格が影響された有価証券については、指定評価者により公正価値を表すとみなされ、受託者会による監督の対象となる方法で評価される。Vanguard Market Liquidity Fund に対する投資はファンドの純資産価額で評価されている。

2. 先物契約: 当ファンドは、一定の範囲内において、インデックス先物契約を活用している。これは、株式市場に対する十分なエクスポージャーを維持し、流動性を維持し、取引費用を最小化することを目的としている。当ファンドは、流入資金を市場に迅速に投資するために先物契約を購入し、資金流出に応じて先物を売却することがある。これによって、流動性確保のために現金残高を維持しながら、基準とするインデックスに対し十分な投資ポジションを擬似的に持つことができる。先物契約の利用に伴う主要なリスクは、ファンドが保有する株式の市場価格の変動と先物契約の価格との間で不完全な相関関係が生じること、および市場の流動性が低くなる可能性である。決済ブローカーの代わりに規制された決済機関をカウンターパーティーとしているため、先物に伴うカウンターパーティー・リスクは緩和される。カウンターパーティー・リスクをさらに緩和するため、ファンドは先物契約を取引所で取引し、決済ブローカーや決済機関の財務体質を監視し、決済ブローカーと決済契約を締結している。決済機関は、当ファンドの履行保証のために当初証拠金を課し、各契約の市場価格の変動を表す変動証拠金を毎日決済することを要求する。未決済契約に対する当初証拠金として差し入れている有価証券は、投資明細表上で注記されている。

先物契約は、日次の決済引値で評価される。契約の想定元本は、資産・負債計算書上に記載されない。契約価値の変動は、契約終了時に先物契約の実現利益(損失)として計上されるまでは、資産・負債計算書上で資産(負債)として計上され、損益計算書上では未実現評価益(評価損)として計上される。

四半期末毎の想定元本の平均によれば、2023 年 8 月 31 日に終了した年度に、ファンドの先物契約へのロングおよびショート投資は平均して、それぞれ純資産の 1%未満および 0%であった。

3. 連邦所得税: 当ファンドは、規制投資会社としての資格を有し、実質的にすべての課税所得を分配することを意図している。当ファンドの税務申告書は、申告書提出後、通常 3 年後の適用

される時効の成立まで関連する税務当局による調査を受ける可能性がある。経営陣は、未確定のすべての課税年度の連邦および州の所得税の申告に関して当ファンドの税務ポジションを分析し、当ファンドの財務諸表に所得税引当の必要はないとの結論に達した。

4. 分配: 受益者に対する分配は、分配落ち日に記録される。分配金額は年度末時点で税法基準によって決定されるため、財務報告目的の純投資収益および実現キャピタルゲインとは異なる可能性がある。
5. 貸付有価証券: 当ファンドは、追加収益を得るために、適格機関投資家に有価証券を貸し付けることがある。有価証券貸付は、随時当ファンドによる解約が可能であり、貸し付けられた有価証券の市場価格と少なくとも同額の担保によって常に保全されることが求められる。日次の時価の変動により、貸付有価証券の価値が受入れ担保価値を上回るあるいは下回る可能性がある。この場合、担保は調整され、翌営業日の市場が開く前に決済される。ファンドは、事前に承認された多様なカウンターパーティーのグループに限定して貸付有価証券取引を締結することや、その財務健全性のモニタリング、カウンターパーティーとのマスター貸付有価証券契約の締結などにより、カウンターパーティー・リスクを緩和している。マスター貸付有価証券契約により、カウンターパーティーのデフォルト(破産を含む)時、ファンドは当該借手に対する貸し付けを終了し、未払金の純額を決定し、当ファンドに対する未払金の純額を上限として保有担保を売却または留保できる。ただし、こうした行動は法的手続きの対象となることがある。担保はカウンターパーティー・リスクを軽減するが、デフォルトが発生した場合、貸し付けた有価証券の回収が遅れたり、費用がかかることがある。当ファンドは、有価証券貸付期間中、受領した現金担保を Vanguard Market Liquidity Fund に投資し、担保の返済について資産・負債計算書上に債務を計上している。担保の Vanguard Market Liquidity Fund への投資は、相場の上昇または下降の影響を受ける。貸付有価証券による収益は、借手に請求される手数料および現金担保による収益から貸付関連費用を控除したものを表す。貸付期間中、当ファンドは貸付有価証券に対して、または貸付有価証券に関連して行われたすべての分配金に対する権利を有する。
6. 借入枠およびファンド間貸付プログラム: 当ファンドおよびバンガード・グループ(「バンガード」)が運用する他の特定のファンドは、与信契約に従って貸主シンジケート団が提供する 43 億米ドルの確定借入枠およびバンガードが提供する非約定ベースの借入枠を利用している。いずれの借入枠も毎年更新され得る。各ファンドがこの借入枠を利用して借り入れた場合、自らの借入金に対して返済責任を負う。借入金は一時的または臨時的な目的で使用でき、ファンドの規制上および契約上の借り入れ制限が適用される。確定借入枠に関連して、契約しているファンドには、管理手数料と確定借入枠の未使用部分に対する 0.10%の年間コミットメント・フィーが課金される。これらの手数料は、ファンド受託者会が承認した方法に基づいて、各ファンドに分配され、ファンドの損益計算書の「マネジメントおよび管理」に計上される。いずれかの借入枠に基づく借入金には、実効フェデラル・ファンド・レートに合意されたスプレッドを上乗せした金利、翌日物銀行調達金利に合意されたスプレッドを上乗せした金利、または担保付翌日物調達日次単利に合意されたスプレッドを上乗せしてさらに合意された追加スプレッドを加えた金利のいずれか高い金利に基づいた金利が課される。ただし、非約定ベースの借入枠に基づく借入金には、当ファンドとバンガードとの間で合意された代替金利に基づいた金利を課することができる。

SEC からの除外命令に従い、当ファンドは、除外命令の条件の順守を条件として、かつ当ファ

ンドの投資目的および投資方針で許容される範囲内で、登録されたバンガードのオープン・エンド型ファンドが一時的または臨時的な目的で相互に金銭の借入および貸付を行うことを可能にする共同貸付・借入プログラム(以下、「ファンド間貸付プログラム」)に参加することができる。ファンド間の貸付および借入は通常、翌日物であるが、最長で 7 日間を期間とすることができる。貸付金は、同営業日の返済要求が可能である。付される金利は、除外命令の条件および受託者会が採用した内部手続きに従う。受託者会は、ファンド間貸付プログラムの監督責任を負う。

2023 年 8 月 31 日に終了した年度に、当ファンドは借入枠もファンド間貸付プログラムも利用しなかった。

7. その他:配当金収益は、配当落ち日に計上される。非現金配当が収益に含まれる場合、当該配当金は受領した有価証券の公正価値で計上される。利息収益は、Vanguard Market Liquidity Fund から受領した利益分配を含み、日次で計上される。有価証券取引は、有価証券が売買された日に会計処理される。投資有価証券の売却にかかる実現利益(損失)の決定に用いる原価は、売却した個別有価証券の原価である。

各クラスの受益証券は、資産および利益に対して同等の権利を有する。ただし、各クラスは別々に、受益者口座の維持(マネジメントおよび管理費用に含まれる)および受益者報告にかかる一定のクラス固有の費用を負担する。マーケティングおよび販売費用は、受託者会が承認した方法に基づいて受益証券の各クラスに配分される。収益、その他特定のクラスに帰属しない費用、投資にかかる損益は、相対的な純資産額に基づいて受益証券の各クラスに配分される。

- B. バンガードとファンドの間のファンド・サービス契約(「FSA」)の条件に従い、バンガードはファンドに投資顧問、コーポレート・マネジメント、管理、マーケティングおよび販売サービスを FSA における定義に従ったバンガードの運営実費で提供している。こうした運営実費は、受託者会が承認した方法および指針に基づきファンドに賦課され、通常、月に 2 回決済される。

バンガードからの要請に応じて、当ファンドは純資産の 0.40%までバンガードの資本に投資することができる。2023 年 8 月 31 日現在、当ファンドはバンガードの資本に対して 478,000 米ドル拠出しており、この額は当ファンドの純資産の 0.01%未満および FSA に従って受領したバンガードの資本の 0.19%に相当する。当ファンドの受託者および役員は、それぞれバンガードの取締役および従業員も兼務している。

- C. 当ファンドのカストディアン銀行は、ファンドが無利子のカストディー口座に現金を預け入れている場合、手数料を引き下げること同意した。2023 年 8 月 31 日に終了した年度において、カストディー報酬相殺契約により、当ファンドの費用は 3,000 米ドル(平均純資産に対して 0.01%未満の年率)削減された。
- D. 当ファンドの投資証券およびデリバティブの価値を決定する際、様々なインプットを用いる場合がある。こうしたインプットは、財務諸表上の目的から広く 3 つの階層に要約される。有価証券の評価に使用するインプットまたは手法が、必ずしもこれらの証券への投資に伴うリスクを表すわけではない。

レベル 1—活発な市場での同一の有価証券の取引価格

レベル 2—その他重要な観察可能なインプット(類似する有価証券の取引価格、金利、期限前償還率、信用リスク等を含む)

レベル 3—重要な観察不能なインプット(投資の公正価値を決定する際に用いられるファンド独自の仮定を含む)。重要な観察不能なインプットを使用して評価される投資証券およびデリバティブがあれば、投資明細表上で注記されている。

2023 年 8 月 31 日現在、当ファンドの投資証券およびデリバティブの時価の 100%はレベル 1 インプットに基づいて決定されている。

- E. 純資産の構成要素の簿価ベースと税務ベースの間の永久差異は、税務上の性質を反映して財務諸表において資本勘定間で再分類される。こうした再分類は、純資産にも 1 口当たり純資産価値にも影響は与えない。期末現在、主として適用される現物償還の会計処理に起因する永久差異が、以下の勘定科目間で再分類されていた。

	金額 (千米ドル)
払込資本金	1,119,009
分配可能利益(損失)総額	(1,119,009)

分配可能利益(損失)総額の構成要素の簿価ベースと税務ベースの間の一時的差異は、収益、利益または損失の特定項目が財務諸表目的と税務目的において異なる期間に認識される場合に発生し、こうした一時的差異は、将来のある時点で解消される。差異は主として、繰越キャピタルロス、値洗いによる損失の繰延べおよび一定のデリバティブ契約にかかる未実現利益または損失の認識に関連している。期末現在、分配可能利益(損失)総額の税務ベースの構成要素の詳細は、以下の表の通りである。

	金額 (千米ドル)
未分配経常利益	17,173
未分配長期利益	—
純未実現利益(損失)	3,480,071
繰越キャピタルロス	(903,547)
適格年末損失	—
その他の一時差異	—
合計	2,593,697

支払った分配金の税務上の性格は、以下の通りである。

	2023年8月31日 に終了した年度 金額 (千米ドル)	2022年8月31日 に終了した年度 金額 (千米ドル)
経常利益*	71,145	57,954
長期キャピタルゲイン	—	—
合計	71,145	57,954

* 短期キャピタルゲインを含む。

2023年8月31日現在、投資証券およびデリバティブの、米国連邦所得税目的の原価に基づいた未実現評価益および評価損の総額は、以下の通りであった。

	金額 (千米ドル)
税務上の原価	10,916,404
未実現評価益総額	3,963,193
未実現評価損総額	(483,122)
純未実現評価益(評価損)	3,480,071

- F. 2023年8月31日に終了した年度には、短期現物投資を除き、3,609,598,000米ドルの投資有価証券を購入し、3,066,033,000米ドルの投資有価証券を売却した。購入および売却には、ファンドの資本持分の現物による購入および償還のそれぞれ、2,796,481,000米ドルおよび2,257,397,000米ドルが含まれている。

当ファンドは、1940年投資会社法の規則17a-7に準拠して受託者が採用した手続きに従って、他のバンガード・ファンドまたはバンガードもしくはその関連会社が運用する口座との間で有価証券の売買を行った。2023年8月31日に終了した年度のかかる購入および売却はそれぞれ158,703,000米ドルおよび302,261,000米ドルであり、これにより発生した純実現損失は261,700,000米ドルであった。上記の投資有価証券の購入および売却は、これらから短期現物投資を除いた金額を含んでいる。

G. 受益証券の各クラスの資本持分取引は、以下の通りであった。

	2023年8月31日に終了した年度		2022年8月31日に終了した年度	
	金額 (千米ドル)	口数 (千口)	金額 (千米ドル)	口数 (千口)
ETF 受益証券				
発行	2,798,222	13,950	3,516,757	15,200
現金分配に代えて発行	—	—	—	—
買戻し	(2,250,686)	(11,575)	(2,026,704)	(9,150)
純増加(減少)額—ETF 受益証券	547,536	2,375	1,490,053	6,050
インスティテューショナル受益証券				
発行	1,823	5	1,938	5
現金分配に代えて発行	170	—	184	—
買戻し	(3,167)	(8)	(11,573)	(29)
純増加(減少)額— インスティテューショナル受益証券	(1,174)	(3)	(9,451)	(24)

H. パンデミック(例えば、新型コロナウイルス感染症のパンデミック)、自然災害や環境災害、戦争(ロシアのウクライナ侵攻など)、テロ行為、またはその他の事象によって引き起こされる重大な市場の混乱は、各国市場および世界市場や市場の正常運営に悪影響を及ぼす可能性がある。このような混乱はいずれも、当ファンドの投資および当ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼす可能性がある。

当ファンドの投資ポートフォリオが特定の市場、業界、セクター、国または資産クラスへの集中を反映している場合、当ファンドはこうした集中先のパフォーマンスの悪影響を受ける可能性があり、価格ボラティリティの上昇およびその他のリスクの影響を受ける可能性がある。

デリバティブの利用により、当ファンドは様々なリスクにさらされる場合がある。デリバティブは非常にボラティリティが高い可能性があり、あらゆる初期投資は一般的に想定元本に比べて少額であるため、取引は市場エクスポージャーの観点からレバレッジがかかる場合がある。比較的小幅の市場変動でも、デリバティブに対しては、有価証券に対してよりも潜在的に大きな影響を与える場合がある。したがって、レバレッジのかかったデリバティブは、ボラティリティを上昇させる可能性がある。当ファンドのデリバティブの利用および関連する具体的なリスクに関する追加情報は、重要な会計方針に記載されている。

I. 経営陣は、当財務諸表で認識または開示しなければならない、2023年8月31日以降に生じた事象または取引はないと判断した。